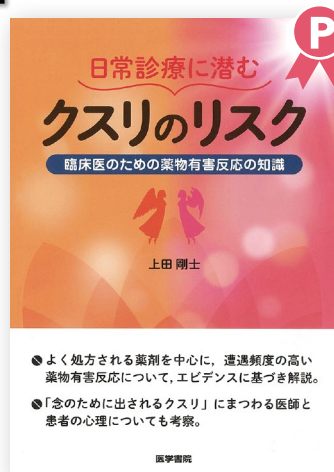




今月の連載関連本



日常診療に潜むクスリのリスク

臨床医のための薬物有害反応の知識

上田剛士＝著

本体 2,800 円＋税／A5・164 頁／医学書院／2017

本誌 3 月号まで 1 年間連載した「クスリとリスク」が、総論やコラムなどの書き下ろしを加えて早くも単行本に！

一般臨床医がよく遭遇する薬剤と薬物有害反応の組み合わせには決まりがある。本書では、よく処方される薬剤を中心に、頻度の高い薬物有害反応について、エビデンスに基づいてわかりやすく解説。また、薬物有害反応を頭では理解していても、医師や患者が「念のためのクスリ」を求めることは稀ではないことから、薬物有害反応が減らない理由を心理学的な観点からも掘り下げて解説する。